

ART 2012

KAMEYAMA

10 / 28 sun. ▶ 11 / 4 sun.

諫山藍
井谷うらん
伊藤龍彦
上岡雄貴
鶴飼雅子
總門信
おおのあやか
緒方直吉
奥村直樹
奥本陽一
小原一洋
華奈
川西みどり
木名瀬眞
木原圭
金泰範
木游人
倉岡としえ
倉岡雅
建築学生団体 ASIT
坂井浩美
佐藤学
佐野誠
下野友嗣
下村雄三
國川絢也
高原永遠
田口綾子
多田真由美
田村公男
寺門大
堂本清文
井島朋香
長縄功太郎
中村恭子
橋本直明
高知良
波多野友香
濱口新平
平松典子
松尾侑香
松尾勇哉
美濃部責夫
三村麻奈
森彩乃
森敏子
矢野里奈
山田沙奈恵
山田隆行
横倉裕司
横山野美
ASDL
gekitetsu
Jun-Atsushi&Kaoru Ichikawa
simo
studio_01

56組の作家による
アートの祭典。

ア ー ト 亀 山 2 0 1 2

ART 2012 KAMEYAMA

ご挨拶

作品紹介
(MAP/作家名/作品名/感想)

イベント

発行物関係

アート亀山2012を終えて

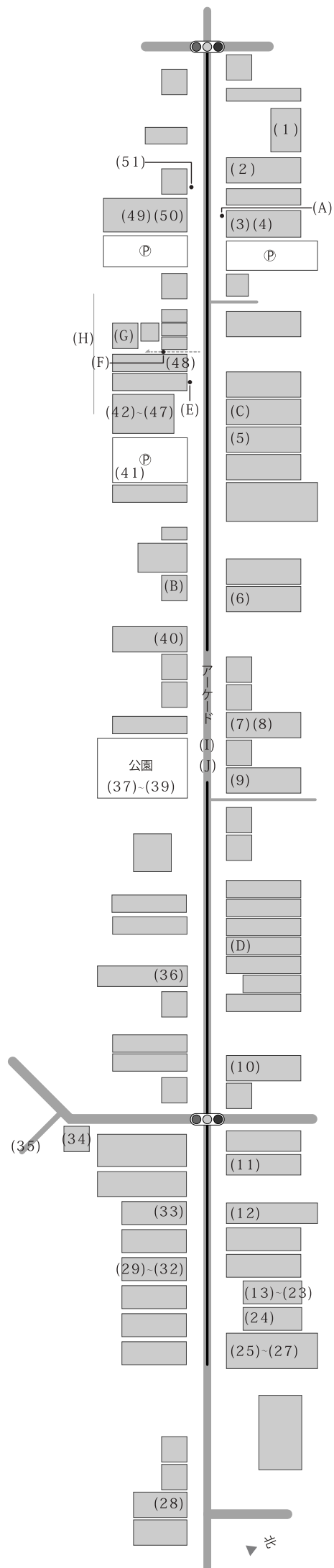
『前へ・もっと前へ』

会場にイスを60脚並べた。井上館長が話始めて5分後、来場者が次々増えてゆく、15脚追加し、その5分後後ろの方へ 再び5脚追加したが、立ち見の人が増えてきた。作家、実行委員、住民、鑑賞者など続々と駆け付ける。その数は80名を超えていた。アート亀山2012最終日、11月4日午後から始まった「美術表現の明日」と題したシンポジウム開始の様子である。シンポジストは三重県立美術館長井上隆邦氏、アーケードにピンクに染色した衣類を展示した 本瀬あゆみさん。国内外のさまざまなアートイベントを体験している立体作家の金泰範さん。そして2010年のコンペから3年連続で出品し、今回も2週間亀山に滞在し制作した、純あつしさんの4名である。街にアートを展示することの魅力と難解さ。亀山という「場」を意識して制作している作品が少ないのではないか。見せ方の工夫が足りないのではないか。アート亀山には住民や地元作家たちとの交流というかけがえのない素晴らしいものがある。作品が媒体となって、住民、来場者、作家の心が通い合うアート亀山のようなアートイベントは他にはないのでは……。などなど、会場の参加者も交えて、活発な熱気あふれる意見が飛び交った。

「現代アートを街に展示する。」このことを通して、それぞれの場所でそれぞれのドラマが生まれ人々が交流し触れ合う。これからの自分の制作を考え、これからの自分の人生も深く考える。自分だけでなく、この街とこの街の未来を考える。私たちが熱い想いを持って継続してゆくことで、街がイキイキとし、社会に「ナニカ」を伝えることができるのではないか。今年も反省や問題点はいっぱいあったけれど、街中に展示された作品を見ながら私たちは 未来への希望を感じていた。亀山を訪れてくれた多くの若きアーティストたちの想いを大切に、そして来場者の感動の言葉を励みにもっと「前」に進みたい。これが実行委員会の切なる願いである。

商店街の皆様、ご協力いただいた亀山市、関係者の皆様、本当にありがとうございました。最後に何度も亀山を訪れて、大きな力で「アート亀山2012」を支えていただいた三重県立美術館の井上隆邦館長に心より感謝申し上げます。

アート亀山2012実行委員会 代表 伊藤 峰子
副代表 森 敏子





1.下村 雄三 /LAUNDRY MUSEUM/小さなきっかけから参加する事になったアート亀山。コインランドリーという刺激的な物となりました。絵を並べそれを観て貰える事の喜びは、かなりアドレナリンが出たように思います。時間と共にズッシリと暖かい物になっていくような気がしています。

2.高屋 永遠 /受容、その五つの形態 /人は受け入れがたい悲嘆や悲哀に直面して、主観性と客観性の中で揺れ動体、鑑賞者との関係の間で流動的に存在する概念としてのイメージをとらえようとする人間の姿に重なるのでも中にもそれらは常にそこにあり続ける。理解しがたく捉えがたい事物を受け入れる精神性を主題に作品を制作し



う特殊な空間での展示は反省点も生んでくれましたが、それ以上
そして今こうして、様々な顔が浮かぶ事がそれ以上の喜びとして

き葛藤する自己と対面する。その心理は、平面上での表現行為と主
ないだろうか。分かり得ないもの、日常にも決定的に重要な経験の
た。



3



4





3.田村 公男 /HIGASHIMACHI MATRIX/やはり絵描きは眼です。愚鈍なる脳細胞をつらぬき通す眼です。遅々として動いているのか、ART KAM EYAMAでもこの眼でつらぬき通すつもりです。でも、やっぱり歳とともに曇ってきているのかな！！！！

4.絵門 仁 /「FOUR SEASONS」「町家 -河崎」/回を重ねるごとにレベルアップしてきているのを感じました。

5.gekitetsu/そこに存在するもの /こういうアートイベントに参加するのは初めてで、色々な作品を観させて頂きました。そして分かったことがあります。「僕に必要なもの」、そしてぼんやりとですが「自分の今現在のレベル」がわかりました。

6.鵜飼 雅子 /ヒト -走る人 -/初めての参加だったが、何度か訪問し場を生かす事だけでなく、店舗で展示する責任や魅せ方等、街中アートについて考えを深められた。今後も大規模なものへと転換していく意識の連鎖を期待したい。



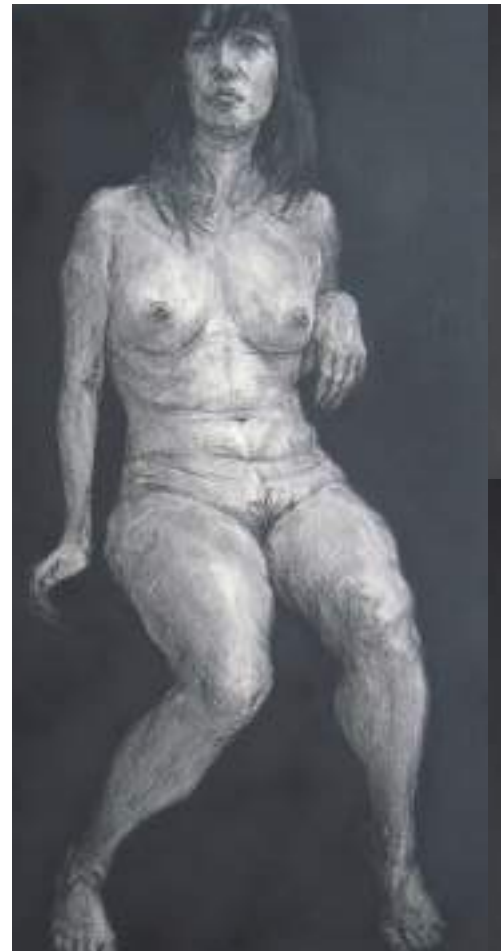
思　う　に
ま　か　す
だ　け　で
な　い。



7



9





7.奥本 陽一 /思うにまかすだけでない。/テーラー今田の御主人に会いに何度と通い、お客様と仕立て人の感覚が同時に服に向かう瞬間の醍醐味を教わりました。それは、顔の見える関係に基づいた接客が醸し出すもので、思うにまかすだけでないという事でした。

9.中島 朋香 /focus/一昨年ぶりに参加させて頂いて、改めて亀山という場所で展示をする意義を考えさせられました。ひとつの作品を展示するだけでも、沢山の方々の力をお借りしました。言葉にならないくらい感謝しています。反省点もありますが、これからの制作で、アート亀山で、「もっと良いもの」を目指して制作に励みたいと思います。

8.波多野 友香 /ずっと小学生のまま /私は「郷愁感の想起」をテーマに制作しています。それにより、未来への推力が生まれるためです。亀山の地でも、懐かしさを思い起こさせてくれる場所に出会えました。また訪れ、より味わいたいです。

10.倉岡 雅 /坐 /写真館を意識して私のライフワーク「対峙する女性像」を展示しました。写真とのコラボを試みたかったのですが…。今度このような機会があれば是非、実現したいです。楽しみにしています。





11.濱口新平 /「身も心も」「灼熱ダンス」/
幸せグッズ発明家山丸剣寺。愉快的仲間と
踊るひまわりの妖精。テーマはいつも平和。
インスピレーションで描きます。楽しい一
週間でした。次回もぜひ参加したいです。
ありがとうございました。

12.美濃部 貴夫 /untitled/美濃部貴夫さん
の絵がたくさんの方に見て頂けた！！美濃
部さんは障がい者支援施設で絵を描いて
発表の場があまりないのですが、今回”
アート亀山”で展示させて頂き、沢山の方
に見て頂けたこと本当に嬉しく思っています。
このような機会をくださったことに感謝し
ています。(代理 高尾佳代子(風の丘))

13.横山 野美 /shadow/たくさんの作品に
刺激を受けました。もっと前から現地で製
作したりしつつ、もっと亀山にかかわって
みたかった。そんな気持ちでいっぱいです。

14.金 泰範 /回想 /人・地域の温かさを感じ
られるイベントに参加させていただき、楽
しい時間を過ごせました。今後、商店街活
性化の一環として、アート亀山の活動がも
たらす利益・活動目的・数年先を見据えた展
開内容など、具体的な方向性の提示が必要
だと感じました。







17.矢野 里奈 / つみ重ね / 作品のコンセプトはいつも人とのつながり、モノとのつながりです。アートで人と人、人と街のつながりを生み出すという事をアート亀山で実感できたように思います。この出会いがまた作品に結びつけられたらと思います。

18.森 彩乃 / 07-2012 kameyama / コンペ開催時から関わらせていただき5年経ちました。亀山で過ごした日々は私を作家としても、デザイナーとしても成長させてくれました。多くの出会いに恵まれたことを感謝しています。

19.島 知良 / 私のドローイングたち / 作品は自分の子供・日記です。H17～現在までのドローイングを本にする作業は自身を見つめ直す時間になりました。展示空間で流れる生活感と作品(私の人間臭さ)による、少しの違和感と一体感を現場で表現できました。

20.園川 絢也 / ギャランダフルアート / ギャランダフル 目の前の空間に描きたい！亀山にはそう想わせる・呼んでいるような空間がたくさんあり、足を運ぶたびに創作意欲が上がりました。これからも沢山の人が亀山の地で成長していくのだと思うとなんて楽しんだらうと思いました。



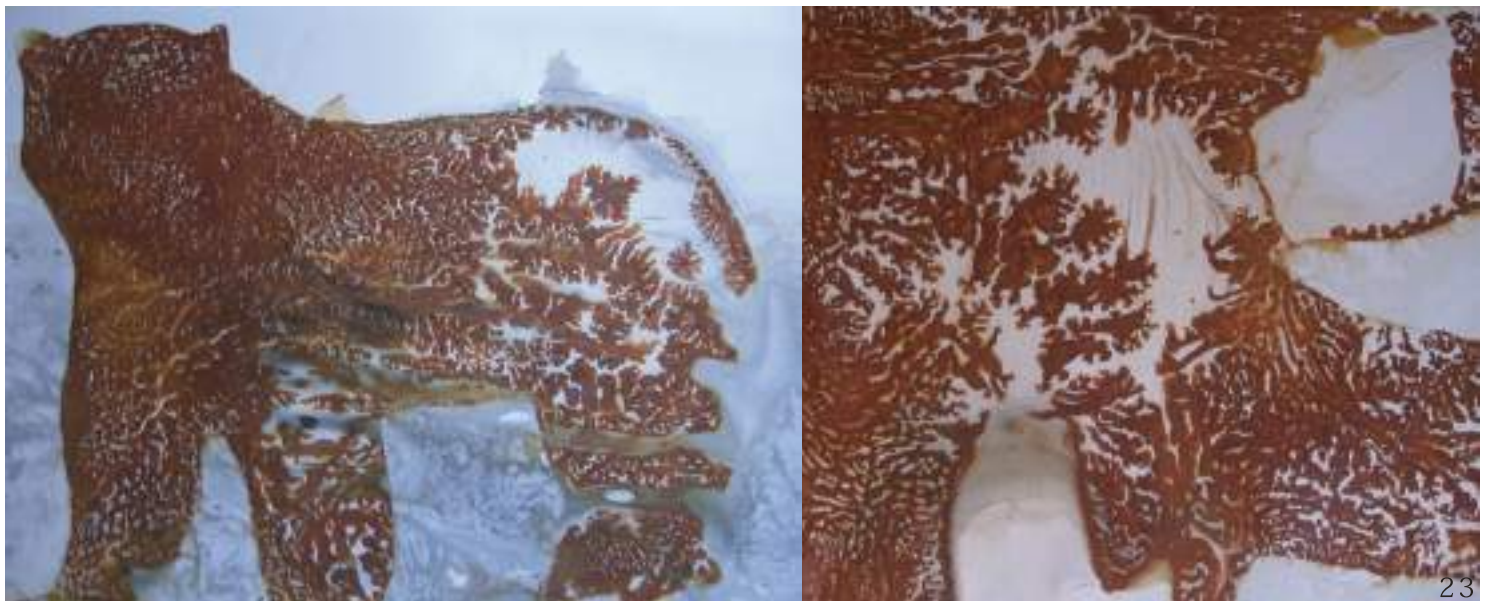




21.横倉 裕司 /あなたとわたしの
ことなるせかい /商店街で展示が
初めてで、想像の及ばないことも
多々ありましたが、ホワイトキュー
ブでやるのとは違った色を出せた
様に思います。携わられた実行委
員、および関係者の皆様ありがと
うございました。

22.坂井 浩美 /untitled/空店舗と
いう個性の強い空間にどうコミッ
トするか、刺激的な体験だった。
よりよく見てもらうためにどうす
べきか、「自分は何をしているのか」
をもっと明確に見えるようにした
ほうがよいのか等考えさせられた。

23.下野 友嗣 /空から降ってきた
神様 /空から降ってきた神様 /自分
のしたいことを出来た展示になっ
た。参加人数と場所が比例してい
ないのが残念。町の人々が力を合
わせてコツコツとイベントを盛り
上げて行こうというのが見えた。あ
りがとうございました。





BOUTIQUE ELINA 跡



24.平松 典子 /アトリエ in信用堂 /たくさんの刺激と楽しさと反省とを得ることができました。アート亀山と共に人間として成長していきたいです。





25.simo/live painting/ 1週間かけてこのサイズの絵を制作、というのは初めての経験でした。亀山の空気を1週間じっくり感じながら制作を行い、沢山の人の協力で今回この絵を描き上げることができました。

26.佐藤 学 /地を透かす /周囲にある木材は、まるで光と時の塊のように感じられた。うつろう光と時間の流れ。

自作が、それらを感じるための存在となれたら…そのような試みでした。亀山の皆様、参加させて頂きありがとうございました。

27.寺門 大 /untitled/丘の上に位置している東町商店街には常に気持ちのいい風が流れていました。搬出入日しか滞在することはできませんでしたがなかの材木さんを始めとして皆さんによくして頂き多くの貴重な経験と出会いを得ました。

26



27



28.三村麻奈 /アトリエ甘い詩 /移住後初のアート亀山でした。アトリエは常に人の気配がないと不気味で、人がいると空間が柔らかく変化するのを感じました。商店街の端に人がゆっくり留まれる場所があったらという思いとアトリエの結合体です。

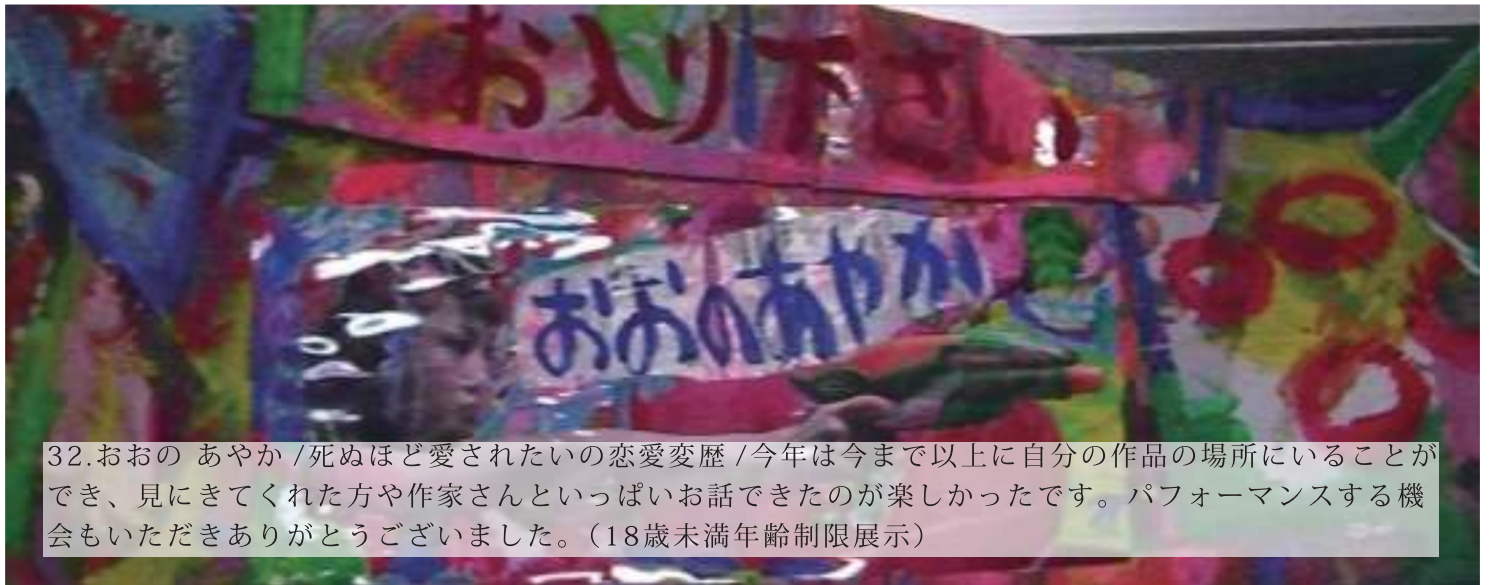


29.奥村 直樹 /私は、あなたです。/亀山の場所をもっと活かせればよかった。単なる町おこしの中の展示という要素以外の部分が見つけにくかった。作品には多くの課題が残った。レジデンスがあればやりたいです。

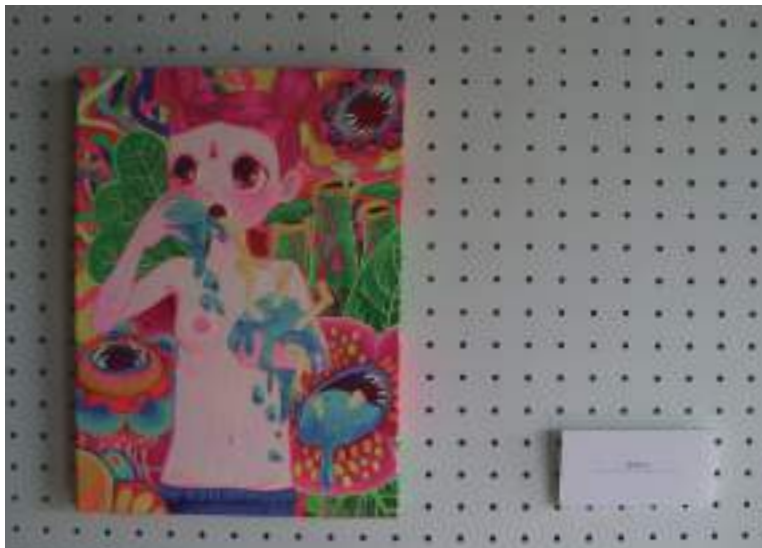
30.木名瀬 薫 /沈みも浮かびもせずただそこに漂っているかのように /賞をつくったり、なにか工夫していかないと、仲良し展示みたいになってしまうなど感じた。レジデンスをしたりして、亀山に滞在することでできた作品とかをつくれるといいのではないかと感じた。今回場所をテーマにした展示とのことで公募していたようだが、それが活かされた空間には思えなかった。



31.山田 沙奈恵 / 来歴 / 個人のお宅で展示させていただいた。そこはどこを見ても部屋の過ごした歳月が記憶されていて、起こった事を受け入れているようだった。私の吐きだす息さえもここに覚えられていくのだろう、という感覚を元に制作した。



32.おおの あやか /死ぬほど愛されたいの恋愛変歴 /今年は今まで以上に自分の作品の場所にいることができ、見に来てくれた方や作家さんといっぱいお話できたのが楽しかったです。パフォーマンスする機会もいただきありがとうございました。(18歳未満年齢制限展示)





33.田口 綾子 /「flowers」「harvest」 /「アートを日常生活の元へ」をテーマとして、平面作品と商品がお互いに活かせるように展示しました。初めての参加で様々な人と交流をする事により、多くの学びを得ることができました。ありがとうございました。



橋本 直明 /Prism Night/場を活かした展示をしたく、この場所を選ばせてもらいました。理由としては、倉庫では時間が止まったような感じが目を引き、それらを観せつつ平面作品と光で構成すれば時代と時間が同時に重なったような表現が、上手くすれば出来るのでは。と思い展示させて頂きました。

35.小原 一洋 /“shimi-project kameyama” /今回、陸橋での展示をさせていただくことになった際にエコーさんから商店街との共存の為にこの陸橋を建てたというステキな話を伺いました。それが現すようにアート亀山ではとてもステキな人たちとつながれました。

36.倉岡としえ /space-garden/美里から亀山へ、グリーンロードを北へひた走る。林、森、遠くの山々、民家の庭の草花。景色がいつの間にか身体に奥深く入り込んでいる。次回も、東町商店街がどんな空間に変身するのか、ワクワクドキドキしている。





37



38

37.木游人/シャングリらん/大地から生え出た大きな花を、環境への警告を込めて少し毒々しい色合いで、廃材た。夜のライトアップもしたかったのですが、周囲の景観も含めて戸外でアートする難しさを感じました。しかったです。

38.井谷 うらん/樂園からの逃走/今回は遊園地のメリーゴーランドから自由を求めて逃げ出した馬が、ユニコーン公園をるというコンセプトで、廃材等で作品を仕上げ公園に設置しました。これからも設置する「場」を意識した作品



や流木を使って制作し公園に設置しまし
し、多くの老若男女に喜んで鑑賞して頂

39.諫山 藍 /reiterate/ ご高覧頂き、有り難うございます。

ンになり過去の悲しみを背負いながら
づくりをしていきたいと思っています。

40.長縄 功太郎 /「今、このときめく ころの旅」 /小林時計舗での展示が決まり、「時」を意識した作品を制作した。人生の時間。今、人生のどの段階なのか。今を精一杯生きることの大切さを痛感した。アート亀山が、年々素晴らしい会になっていることを実感しています。

41.伊藤 龍彦 /Laputa/亀山って、天空の街だよ、って、前に話したことがあって、誰も使わない駐車場に水を張れば、空が映るかもしれないって。映ったら、水上の人は空に浮かんでいるように、見えるかもしれないって思ったんです。

42.木原 圭 /正転 独眼 /言葉を使わないコミュニケーションである美術作品が美術館から出て街で展覧会をするという事は、外国で展覧会をするのと似ていて、そこでは全く美術の文脈にいない人達(言葉の通じない人達)とのコミュニケーションが待っている。だからこそ、街での展覧会は言いたい事や表現の方法の精査の仕方が鍛えられるように思う。街での展覧会は自分を変えてくれる一手段。









43.中村 恭子/マインドセンスV/
亀山に滞在中、本当にたくさんの方々と触れ合いました。あえて「ふきだし」をモチーフに選ぶほど会話が苦手な私ですが、驚くほど自然と会話が交流が生まれました。あたたかい心遣いに感謝。亀山は素敵な町です。

44.上岡 雄貴/Flag/旗は、世界を形作る。世界を形作り、明らかにしていくプロセスが、生きるということであるならば、人々が紡いできた歴史の中で、旗は生きた証のようにも見える。生を、そこに居ることを、我々は表明し続ける。

45.多田 真由美/「日光/月光」/自分の作品を初めて亀山の街で展示してみて、展示の空間や作品の見え方以上に、出会った人々や亀山に漂う空気が、一冊の絵本を読み終わった後のようにじんわりと印象に残っています。





46.松尾 勇哉 / 早期回想 / コンクリートの冷たさと人がそこに居たという暖かさが作品を包み込んでくれました。作者にとっても鑑賞者にとっても昔を思い出す良い場所であれたと思います。

47.松尾 侑香 / 「エネルギー」 / 楽しみながらつくらせていただきました。亀山のエネルギーはじわじわと人々から溢れ出ていました。これからも楽しさが沸き出ていきますように。ありがとうございました。



やなぎやビル 跡





49

48.堂本 清文 /untitled/アート亀山会場の東町商店街は15センチメートルの正方形(白いタイル)がシンボルパーツです。この15センチの正方形で作品を展開してみました。以前から正方形のパーツは大好きなのでとても快適です。

49.建築学生集団 ASIT/「今、」/初のアートイベントへの出展で自分たちに何ができるかを考えるきっかけになりました。これからもまちのこと、社会、アート、建築といったことを連続的に捉え、建築学科として何ができるのか模索していきたいです。

50.川西 みどり /「祈」/「祈」をテーマに初盆3部作・亡き父母への「花野」・福島への祈りの作品100号~120号9枚を展示しました。最後尾に見るアート会場なのか、鑑賞後ソファで寛がれる姿が印象的でした。



51

51.studio_01/kumiki/制作の一週間、たくさんの亀山の方々に助けられました。木を分けていただいたり、空き家を使わせていただいたり、ご飯に連れ行ってもらったり。日常的な関わり合いの中で、この時この場所でしか生まれなかった作品をつくることができたことに感謝しています。



森 敏子

A.「森を歩く」/アーティストの表現を通して亀山の街の魅力を引き出していきたいーそんな想いで5年間、アート亀山を創り出してきた。毎年、もと銀行であった協働センターが拠点となる。2012は夜間金庫を塗り込めたセンターの白い外壁に作品を展示。そこを通る度に、今も紫と緑の残像が浮かんでくる。まるで、森を歩くように。

B.「恋のしずく I・II」/「佳」は昭和が色濃く残る喫茶店。みどりさんが淹れるコーヒーは美味しい。店内は喫煙 OK。演歌も流れている。おまけに裕次郎の写真も飾られている。そんな店のショーウィンドウには「肩を濡らす・・・恋のしずく・・・」がよく似合う。

緒方 直青

C.『オ役ニタテナクテ』/美を愛し過ぎるのはある種の人間に固有でその者はそれだけで罪なのだ。動物は罪を犯さない。恥入って人間に未接触の動物を描いていた時、東北で地面が弾け海が暴れて人々が呑み込まれていた。私はただの役立たずだった。

D.『昔草原で』/昔人は森に学び草原に調和していた。今、喧噪の耐えない街で私たちはすっかりぼんやりしている。森の匂いも草原の視界も思い出せない。それでもこの秋亀山東町にピンクの洗濯物群が揺れたように、幻想の明日は明るい。





E



F



G



H

Jun Atsushi & Kaoru Ichikawa

『隠身(かくりみ)の結び、魂の森』

E.section 1 さ神信仰について

F.section 2 稲作信仰について

G.section 3 結びの信仰について

H.section 4 神籬(ひもろぎ)信仰について

巡り逢う運命の連鎖は一つの結び目となりました。
私達の祈りは幾重にも連なる新しい明日へと向かいます。皆様、ありがとうございました。



I

I.ADSL(本瀬)/『Life Landscape KAMEYAMA』/都市における洗濯物は、そこにある生活を示す「生活の外観」である。仮の「生活の外観」を作ることで、その場所を考えるためのきっかけにしたいと思い、今回の展示を考えました。年に一度のイベントと日常の生活をつなげるような作品です。

J.山田 隆行 /Alltagsleben(いつもの) /水の流れる音。車の走る音。人々の話し声。亀山の街でふだん何気なく耳にする音を、新しい秩序のもとで再構築してみる。商店街のスピーカーから流れ出るその音は、街の音と融合し、どのような音風景を生むのだろうか。(音楽作品のため画像無し)

イベント





10/27(sta)
LIVE PAINTING/おおのあやか
OPNING&LIVE PAINTINGの USTREAM配信

11/3(sta)
似顔絵 /倉岡雅
LIVE PAINTING/伊藤潤一・NONNKI
赤べこワークショップ/みんなの環
カホンワークショップ/浜口しんぺい
アロマセラピー/宮口くに代
チョークアート
ネイルアート/岡本優希・徳風高校
ダンス/KSG

ファッションショー/岡田雅文・落合香苗

グリーンボード“KEEP CLEAN .KEEP GREEN”

作家によるガイドツアー/伊藤龍彦・出品作家

講演「被災地支援ドキュメンタリー 手のなかの武器」/ハシモトリヨウ

10/28(sun)~11/3(sta)

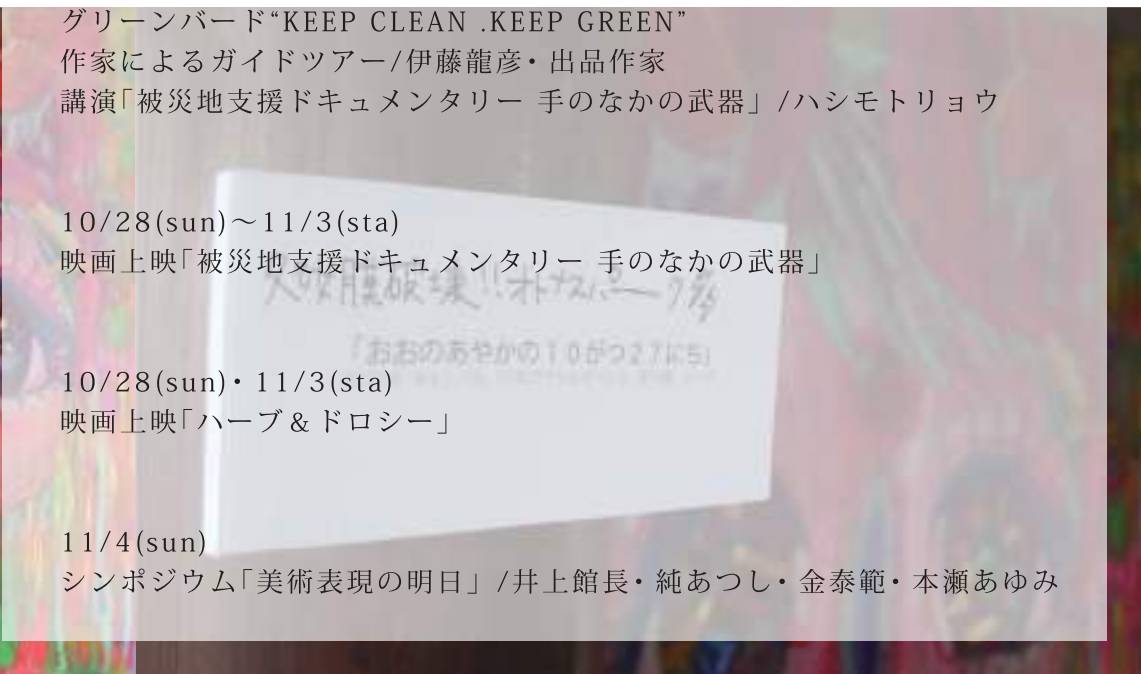
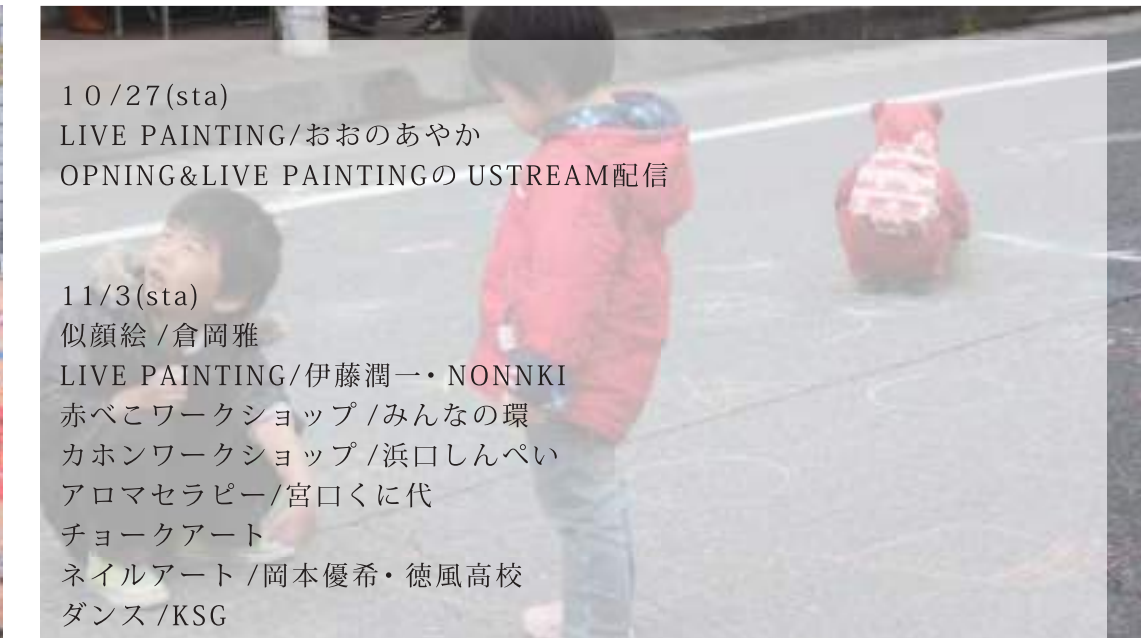
映画上映「被災地支援ドキュメンタリー 手のなかの武器」

10/28(sun)・11/3(sta)

映画上映「ハーブ&ドロシー」

11/4(sun)

シンポジウム「美術表現の明日」/井上館長・純あつし・金泰範・本瀬あゆみ



『アート亀山2012によせて』

アート亀山2012は、昨年度に引き続きアートによるまちづくりを考える会の皆様と亀山市との協働事業として開催いたしました。アート亀山2012が盛大に開催されましたことは、伊藤峰子実行委員長をはじめ、関係各位のご尽力の賜物であり、深く御礼申し上げます。

さて、アート亀山は、三重県内唯一のコンペ方式を取り入れた現代アート展として、年々その活動の幅を広げられ、このたびは、被災地復興イベントを盛り込まれるなど、新たな取り組みも行われました。実行委員会には例年にも増して多くの方がご参加されたとお聞きしており、文化を通して広がる絆の暖かさを感じたところでございます。

また、アート亀山の開催に先立って行われたワークショップでは、まちの家具として椅子が制作されました。現在も商店街の一角にある椅子には、市民の皆様が座ってお話をされたり、園児が散歩の途中に立ち寄っていったりと、交流の場としてすっかりまちになじんでおります。また、商店街のアーケードいっぱいには展示されたピンク色の「洗濯物」は、白いまちなみに鮮やかに映え、通る人の目を奪っておりました。どの作品も、商店街の皆様をはじめ、地域の皆様と作家の皆様の協働の賜物であり、アートでつながる人の輪に感銘いたしました。

このように、文化には、人を引き付ける魅力や、地域を元気にする力があることから、本市では、日々の生活に安らぎや生きる喜びを与え、自分や他人を大切に思う心を育む「文化の力」を生かしたまちづくりを進めるため、平成23年3月に文化振興ビジョンを策定しました。このビジョンに基づき、今後も、クオリティ・オブ・ライフ（暮らしの質）の高いまちを目指して、文化政策の推進に取り組んでまいります。

アート亀山2012では、たくさんの個性豊かな作品を鑑賞させていただきました。作家の皆様におかれましては、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げますとともに、ここ亀山市で、再びお会いできますことを心よりお待ち申し上げます。

最後になりましたが、アート亀山が人々の心を豊かにし、人と文化の更なる交流を生み出すイベントとして、一層発展していくことをご祈念申し上げますとともに、アート亀山2012の開催にご尽力いただきました実行委員の皆様、関係者の皆様のますますのご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

亀山市長 櫻井 義之

『アート亀山2012へのコメント』

今回で5回目を迎えたアート亀山ですが、例年にも増してメディアに取り上げられ、期間中は、アート亀山の話でもちきりでした。特に今年は、亀山市内で放送されるテレビで特集を組まれたり、他市の方が期間中に視察にいらっしゃったりして、市内だけでなく、市外までもその名前が広がりつつあるように感じました。また、今回は56組の作家さんが、亀山の魅力をアートの力で輝かせてくださり、今までにない新しい視点に気付くことができました。この先、回を重ねるごとに注目を集め、アート亀山がきっかけでより多くの方が亀山を訪れるようになり、商店街だけでなく、亀山市全体が元気になることを期待しています。

亀山市文化スポーツ室・観光振興室・商工業振興室

三重県立美術館 井上 隆邦館長へのインタビュー
～アート亀山2012を終えて～

ーアート亀山の5回展を終えて、どのように思われましたか。

みなさんの努力で5回展までこぎつけたところを大変喜ばしく思っております。今後のことですが、まずは継続すること。そして回を追うごとに展示内容が充実すれば、アート亀山の発信力も高まるでしょう。「いい作家を発掘しているな」との世評が出れば、鬼に金棒です。

ーシャッター通りと化した商店街に、現代アートを文化として根付かせて行くことの可能性についてどう思われてますでしょうか。

「現代アート」の商店街への導入は街の活性化に役立つと思いますが、一過性のイベントで終わってしまえば、効果は限定的です。イベントを中心に据えつつも、多角的な事業展開が必要でしょう。新進気鋭のデザイナーや建築家がオフィスを構えたり、ネイル・アートやファッションさらには食文化などの分野で様々なチャレンジがなされれば、人の往来も増え、年間を通じて商店街が活気づくのではないのでしょうか。広い意味での「文化」を基軸として、産業振興や観光振興といった視点も念頭に置いた上で、「時代」を先取りするような対策や仕掛けが重要だと思います。

ー最後に今後のアート亀山に、館長ご自身が望んでおられる展開などをお聞かせください。

最後に触れておきたいのは、これまでアート亀山に参加した若者たちのことです。かなりの数の方々が手弁当で訪れ、作品を展示してくれました。こうした若者との出会いは、亀山という街にとっても大変貴重な財産です。今後とも交流を深め、人的な繋がりを維持することが重要でしょう。

来場者の感想

- *TVの放送で知った。もっと宣伝してもらおうと沢山の人が来られると思う。会期に間に合って良かった。亀山の町もじっくり歩くといい町です。これからもこういう企画をお願いしたい。
- *近代アートは理解しにくい。全体的にアートの世界はおもしろい。
- *昨年も来ました。変わらず沢山の作品がありました。まだ亀山市内でも知らない人が沢山居ます。こんな良い作品があるのなら三重県内の人にもっと知ってもらいたいです。このことは昨年も思っていました、まだ浸透していないのが残念でした。
- *年々レベルが上がってきているように感じられ(私のような現代アートの何かも分からない者でも) 亀山の町が1年に1回賑わうことも大事かと思えます。
- *まだまだ知らない人が多いと思いますのでもう少し告知をしっかりとしたいと思います。せっかくいい作品があるので。
- *毎年頑張ってみえるので凄く大変なのに。来年もぜひ開催してください。
- *すごくよかった。予定の時間を1時間オーバーしてしまいました。約3時間かかりました。もう1回来たいけど来れないので残念。また来年もしてほしい！
- *地元の方との交流、作家さんとの交流があり、とても楽しかったです。もっと規模を大きくして欲しいです。
- *初めて出会う作品にはどれも作者の強い思いが伝わってきます。そして一般のお客さんの殆どが話してみると皆さん温もりを感じさせてくださり、心温まる1日となりました。来年もまた来場致します。
- *完成度の高い作品もあり、そうでない作品もあり様々でした。初日マイナスな出来事もありましたが、これから+に変化していくことを願っています。商店街の人々も感じがよく、よかったです。
- *楽しかったです、来年もやってください。
- *三重県内では珍しい活動だと思います。今後もっと続いていくよう願っています。
- *普通の商店街にアートがある面白さを実感しました。亀山の人も協力的で良かったです。これからも続けて、もっと有名になるといいです。
- *こういうイベントに来るのは初めてだったんですが、作った人の独特の感性に触れることが出来て良かったです。私は美術に疎いので、よく分からないものもありましたが、色々な人の作品を見て感じる事が出来たことはとても楽しかったです。ありがとうございました。
- *一つ一つの作品がすごい。なかなかアートに興味 wasn't なかったですけど、ゆっくりと見させて頂きました。
- *作品も作者の方もパワフルで驚きました。商店街の至る所に作品があり、作品を見ると同時に商店街のことを知れました。
- *心が癒される所もあり感動しました。
- *今まであまり亀山に来ることがなかったが、アート亀山を通して亀山市を身近に感じる事が出来ました。アーティストさん方の作品も、どれも素敵で、とても楽しんでまわられました。
- *イベントが行われていたことを今年初めて知りました。映画等、アートに詳しくない人でも、興味程度でも楽しめる内容が良いと思います。
- *おもしろいー！
- *おもしろい
- *商店街活性化？自分の住む近くの商店街でもこういったものが出来たら楽しそう！
- *これから見るけどわくわくしている。ハーブ&ドロシーはDVDを買って見たけど大変良かった。昨日上映したとのこと。うれしい。
- *今年も若手作家の面白い作品が多く出品されており非常に楽しい展覧会となった。また地元作家の「天空の風景」水中都市のような感覚を味わえる空間芸術も素晴らしいです。
- *商店街にアートが無造作に置かれていて身近に感じた。もっと溢れるほど作品があるといいのに。

*大変良かったです。

*商店街にアートが無造作に置かれていて身近に感じた。もっと溢れるほど作品があるといいのに。

*アート亀山が開催されてから5年が経過されていることに感動しています。地域の方、若い作家さんたちのパワーに元気を戴いております。亀山が活気づく事は本当に嬉しく思います。

*楽しかったです。ネイルとか似顔絵もあって。でも昨年あったまゆカットとかぜんざいがなくて残念でした。

*はじめてきました。スタッフとして、お客さんとして、どちらも楽しめました。緒方直青さんの作品が素敵でした。

*60年前(昭和26年)春鈴会(しゅんれいかい)による亀山町文化祭を思い出しました。新町座での演劇、ひさご軒での絵画展覧会などがありました。時代が変わっても芸術や文化を希求する心は失われない事を、改めて感じました。

*芸術の神ムーサが亀山に降り立ったようで別世界のようなようでした。ライブペインティングや天空の椅子からの風景がよかった。子供も楽しんでいました。

*良いイベントですね。続いて行って欲しいです。

*色々な作品があって楽しかったです。

*若い人たちが楽しく行っている事に大変喜びを感じます。今後も続けてください。

*絵がいいですね。

*良かった。

*パンフレット、ポスター等昨年に比べると分かりやすかった。おおのさんの作品素敵でした♥

*毎回驚かされてばかりです。また来ます♥

*空き店舗を使って飾る分にはいいですが、もう少し展示スペースをちゃんと整えてあげると思います。

*できれば街全体を使ったアートをもう少し前面に見せて頂きたいです。

*はじめて参加(拝見)しました。率直に言わせて頂ければ、もっと作品をちゃんと展示できるスペース、空間作りをして欲しいと思いました。予算がない中での開催で実情が苦しいのは分かりますがこれでは自己満足・個人レベルの催事と変わらないというべきか、あるいはアートフェスとは呼べません。作品のレベルの向上、運営されている方の意識の向上を今後強く望みます。

*もっと全体(商店街)に広がれば楽しめる

*木曜日に来ましたが、見られない作品もあり残念でした。

*前回よりレベルが上がった気がします。他の芸術祭よりクオリティや規模は劣りますが、地域のあったかさがあっていいと思います。あと無料は有り難いですね。欲を言えば、地域活性でお金を落とす方法を考えないと行けないかもしれません。(1時間くらいで回ってこられるので)ただそれでも飲食くらいでしょうか?展示店舗の売り上げがもっとあがったらいいんですけどね。これからも頑張ってください。

*様々な表現を見せて頂き有り難うございます。無理な事かと思いますが「多分若い人が多いと思うのでもっと型を破って欲しいです。

*商店街でのアートは楽しめました。こういった取り組みは面白いと思いますが、音楽を取り入れたり、アートを絡ませたりしていくともっと楽しめると思います。マップもアート以外の事も紹介していった方が(このお店の〇〇がおいしい)とか良いと思います。あと、まだまだ宣伝が足りないと思います。三重県内でも知らない人はまだ沢山いると思います。お金をかけない宣伝はいくらでもあるので、もっとアピールして欲しいです。知っていれば来る人は沢山いる筈です。

*HPが分かりづらい。作品が昨年よりインパクトに欠けてる。駐車場が分かりづらい。

実行委員の感想

伊藤 幸一：作家の皆さんの熱意に共感し、それを共有できたことは大変良かった。関心のない人たちを振り向かせる知恵がたりないように思う。

緒方 直青：真剣勝負している作家や実行委員の姿に深く感じ入った。アート亀山の共通理念を認識する時点に来ている。

蔵城 史明：作家さんの展示のお手伝いをさせていただいたことで、貴重な体験ができた。スタッフ、コンペ作家のなかで学園祭のノリでふるまっていた部分が目についた。受付での接客態度、パトロールなどで意識の差を感じた。

三村 麻奈：新しい多くの作家たちと知り合うことができたことが良かったです。作家もお客さんも常連がふえたことが嬉しい。街のなかにくつろげるスペースがもっとあるといい。長時間とどまらないと、アート亀山の魅力は伝わらないと思います。

倉岡 雅：今回、さまざまな方々がボランティアとして参加いただいたことは良かった。

アーケード部門の本瀬あゆみさん、おつかれさまでした。ありがとう！トークの中で純あつしさんが言われた「感覚の共有の必要性」ということに感動した。作家の中で、作品がポートフォリオからほど遠いものがあったように思う。

田村 公男：アート亀山に関して twitter の中の発言で気になるコトバもあるが、参加作家の常識に任せるしかないのか。あるいは事務局での整理が必要かも。若いパワーは素晴らしい。

平松 典子：作家によるガイドツアーで作品をしっかり見ることができ親しみが増した。TVや新聞をみて来場する人が増えてきている。会期前から商店街で制作するなど、作家、街の人たち、実行委員との交流が多く持てた。

廣森 智也：期間中、商店街の皆さんが来場者にとっても好意的な態度で接してみえたので感動した。studio01 さんの夏のワークショップは良かったし、終わってから作品「街の家具」が商店街を彩っているのは魅力だと思います。夜の商店街のアーケードの灯りがとてもきれいでした。

宮口 くに代：11月3日のイベントに参加させていただいて、とても良かった。アート亀山の魅力を知った。お天気が悪くて寒かったのが残念。

吉田 健一郎：いろんな人たちと出会えてよかったが、アーティストとスタッフの間で距離感があったのが残念だった。

田中 敏弘：ガイドツアーが良かった。もっと多くの部門（演劇・ダンス・パフォーマンスなど）の参加があるととても良い。期間が1週間ではもったいない。

井谷 うらん：作品レベルも年々向上しておもしろい。実行委員も若い人が増えてありがたい。期間中、商店街は定休日を返上するとか協力をしてほしい。地元の多くの方の応援には感謝しています。

岡田 晴貴：展示作業を手伝ったことにより、参加している実感が味わえた。他のイベントと集中する時期で、あまり時間をとれず申し訳なかった。

木原 圭：前年と比較すると、プロ意識のないやり放しの作品は少なくなったが、まだまだ意識の低い作品があった。もう少しコンペを厳しくすることで参加人数を減らし、展示の濃縮化を図らないと遠くから来てくれる来場者に対して失礼に思う。展示場所を集中させて、見やすい工夫を考えるべき。エリナ（3F建てビル型空き店舗）の使い方は特に難しいので、綿密な計画が必要だと思う。

杉野 綾美：たくさんの作家や来場者とお話しできて、作品に対する想いに触れ、アート亀山の面白さを改めて感じた。アート亀山にかかわって自分も成長できたらいいなと思います。

アート亀山 2012 事務局より

「アート亀山2012」、多くのドラマを残して、無事に終えることができました。携わっていただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

商店街という日常の場で表現することは、ややもすると作品が街に吞まれてしまいます。だからこそ、おもしろい。だからこそ、ドラマが生まれる。作品を媒体に住む人と訪れる人、そして表現する人の心が通い合う。

亀山の住民が気づかない街の魅力を引き出してくださった作家の皆さま、ありがとう。ワークショップ、公開制作、シンポジウムなど大活躍してくださった作家の皆さま、ありがとう。訪れてくださった多くの来場者の皆様、ありがとう。楽しんでいただけましたか。自主的に実行委員会に飛び込んでくれた地元の若者たち、ありがとう。空き店舗の掃除やカレー作りに協力いただいた商店街のみなさま、ありがとう。宿泊場所を提供してくれた街のみなさま、ありがとう。電気・機械・運搬などプロまがいの大活躍をしてくださったボランティアさん、ありがとう。イベントに参加していただいた皆さま、ありがとう。営業中の店舗を貸していただき、にこやかに対応してくださった、お店の皆さま、ありがとう。展示作業や印刷などいっぱい助けてくださった市役所の皆さま、ありがとう。オープニングに素敵な挨拶をしてくださった来賓の皆さま、ありがとう。デザインや記録誌作成を受け持ってくれたスタッフ、ありがとう。ハープ&ドロシー、感動をありがとう。そして、アート亀山を大きな力で支えてくださった井上館長、ありがとうございました。

アートの持つ力で街の未来を変えられることができれば……。そんな想いを抱きながら、「アート亀山2013」に繋げたい。

事務局の力不足で、皆様方にはご迷惑をおかけしたこともあったかもしれません。この場をかりてお詫びいたします。

事務局長 森 敏子

- 主催
アート亀山2012実行委員会
アートによる街づくりを考える会
三重県
- 事業協力
亀山市文化スポーツ室・観光振興室・商工業振興室
亀山市東町商店街振興組合
亀山商工会議所
亀山市観光協会
中日新聞社
伊勢現代美術館
- 編集責任：佐野 誠
- 写真協力：森 彩乃 / 参加作家
- 「アート亀山2012」記録誌
2013年3月31日発行
発行：アート亀山2012実行委員会
- 事務局
〒 519-0137
住所 三重県亀山市阿野田町1060
TEL 0595-82-4125

ART 2012
KAMEYAMA